

危機管理意識を正す！

ラ・フォーレ吹屋消防計画
未提出の問題について

金尾 7月25日にラ・フォーレ吹屋が再オープンしたが消防法に基づく消防計画が提出されていなかった。重要な書類であると考えるがいかがか。

消防長 提出の必要性は認識されていたが、オープンまでに提出はなく、8月2日に提出された。

産業経済部長 指定管理者の認識不足、今後市の指導を徹底したい。

金尾 法令順守が大切。危機管理意識が希薄なのではないか。

川上こども園の水害対策について

金尾 平成25年の西谷川の増水による水害で、川上こども園は大きな被害を受けた。それ以来、西谷川の改修を毎年 P.T.A. が

金尾 恭士 議員



高梁市の職員数は適正な人数なのか

行っているが、進展がない。園児の安全が第二ではないか。

土木部長 被害を受け、砂防河川施設管理者の岡山県が復旧工事を行った。平成30年豪雨の際には、消防団が土のうを設置した。堆積土、支障になる木も成長している。護岸は凧だが、河川自体の管理は市なので、しゅんせつ、伐採等で令和6年度に対応していきたい。

川上体育館の外壁の剥離対策について

金尾 川上体育館の外壁の剥離が一段と進んでいる。今年度6月頃から工事に入るということだったが、いまだに延期となっている。

教育次長 緊急性の高いものから取り組んでいる。現在は、実施設計が済んだ段階で、今後入札を経て、工期を3か月程度と設定し、1月末には完了できればと考えている。

小林 重樹 議員



高梁市の職員数は適正な人数なのか

総務部長 本市と類似する自治体の人口1万人あたりの平均職員数は約96人となっており、本市比較では一般行政部職員が5・6%多い。令和5年4月の職員数は、正規職員617人、会計年度任用職員489人である。次期プランにおいて財政状況に見合った事業規模、施設規模の見直しを行い、それらが整理された上で適正な職員数について並行して検討していく。

小林 行財政改革プラン(案)における「職員の生産性の向上」とはどういう意味か。

市長 時間当たりの、成果を向上させることです。職員の能力開発や意識改革を図る研修を進めていき、人材を育成する。

高梁市に適した職員数は

小林 行政資源を充実させることが満たされた場合は出場できる。

教育長 地域と連携した活動が軌道に乗り中体連等の大会出場資格が満たされた場合は出場できる。

小林 最終的には広域的なスポーツクラブを考えているのか。

高梁市に適した職員数は

小林 行政資源を充実させることが満たされた場合は出場できる。

教育長 地域と連携した活動が軌道に乗り中体連等の大会出場資格が満たされた場合は出場できる。

小林 最終的には広域的なスポーツクラブを考えているのか。

高梁市に適した職員数は

小林 行政資源を充実させることが満たされた場合は出場できる。

教育長 地域と連携した活動が軌道に乗り中体連等の大会出場資格が満たされた場合は出場できる。

小林 最終的には広域的なスポーツクラブを考えているのか。

高梁市に適した職員数は

小林 最終的には広域的なスポーツクラブを考えているのか。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

森上 昌生 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの取り組みを聞く

平松 久幸 議員



高梁市復興計画について

建設工事の入札と工期について

昨年度実証運行の評価と本年度運行の現状を聞く



平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

94.95・1%であり、令和3年度は94.7%であった。